



立ち止まって、考えてみよう

TPPがもたらす日本社会の姿

TPP交渉参加をめぐって国論二分の状況にあります。国内農業への深刻な打撃や健康保険制度崩壊が危惧される反面、貿易促進や日米同盟強化の観点から推進を主張する人も少なくありません。

本シンポジウムでは、1)そもそも自由貿易やグローバル化は何かどう問題なのか、2)TPPのどこが問題でどんな影響が予想されるのか、3)韓米FTAで日本より先行する韓国でどんな事態が生じているのか、を3人の識者から報告いただきます。

一般の方、学生も自由参加、参加費は無料です。ぜひおいでください。

地域農林経済学会・大阪経済大学共催 特別シンポジウム 「TPPと日本経済－包括的経済連携協定は何をもたらすか－」

司会 増田佳昭(滋賀県立大学)

報告1
TPPをどうみるか－グ
ローバル化のゆくえ

柴山桂太(滋賀大学)

著書

現代社会論のキーワード-冷戦後世界を読み解く(共著)、グローバル恐慌の真相(共著)、危機の思想『「文明」の宿命』ほか

報告2
TPPと日本の国民経
済・農業－推進論批判
をとおして

磯田 宏(九州大学)

著書

TPP問題の新局面(共著) 政権交代と水田農業－米政策改革から戸別所得補償政策へ(共著)、民主党農政1年の総合的検証(共著)

報告3
米韓FTAが韓国経済
にもたらしたもの

柳京熙(酪農学園大)

著書

韓国のFTA戦略と日本農業への示唆(共著、新自由主義経済下の韓国農協―「地域総合センター」としての発展方向(共著)ほか

日時:10月19日(金)13:00~16:30

会場:大阪経済大学 C館3階C31教室

533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8

【お問合せ】藤本高志 Tel 06-6328-2431

E-mail tfuji@osaka-ue.ac.jp HP <http://a-rafe.org>